

3サンハイツせけんばな紙

第 15 号

令和5年2月1日

編集責任者
田島康弘 (3-101)
作成責任者
渡邊芳憲 (9-503)
編集委員
小松清明 (10-501)



花部の拡大

団地内の野草

田島康弘 (3-101)

フヨウカタバミ (芙蓉方喰)

別名 アオイカタバミ

本紙第6号に、15号棟東側で見つけた赤色のフヨウカタバミを載せているので、同じ名前のものですが、花の色や場所が違うので、再び掲載します。見つけた場所は5号棟の庭の生垣の木の根下で、花の色は赤ではなく白です。基部が黄色であることは同じです。2〜3輪咲いていてとてもきれいでした。黄色や紫色の花もあるということです。花期は4〜7月ですが、暖地においては冬の11〜3月に花を咲かせる場合もあります。そうですが、この花も12月末に見つけました。南アフリカ原産で、明治中期に観賞用として渡来しましたが、今では、全国各地の道端、荒地で見つけることができるそうです。

2月行事予定

コロナの発生状況、天候などによって、中止もあり得ます。事前に確認をお願いします。

- 9日(木)・火災予防運動の日(毎月9日)
- 11日(土)・第31回鴨池校区文化祭
- ・開会行事 13:00~13:30 真砂福祉館1階洋室
 - ・真砂歌う会合唱(1回目公演) 13:30~14:00 同上
 - (2回目公演) 14:10~14:40 同上
- 12日(日)・第31回鴨池校区文化祭
- ・昔の遊び (1回目公演) 10:00~10:30 鴨池小学校体育館
 - (2回目公演) 10:50~11:20 同上
 - ・マジックショー(1回目公演) 13:30~13:50 真砂福祉館1階洋室
 - (2回目公演) 14:00~14:20 同上
- 13日(月)・体幹トレーニング 10:30~11:30 鴨池生協クリニック5階 指導者 長濱一成先生
- 15日(水)・合同リサイクル活動 主催:鴨池小学校・鴨池校区コミュニティ協議会
場所時間:鴨池小学校正門・東門 7:30~8:00 インクカートリッジ
収集対象:廃食用油・キッチン金具・古本・制服・ベルマーク・
- 19日(日)・第31回鴨池校区文化祭
- ・カモカル音楽隊公演 10:00~ 鴨池小学校体育館
 - ・プティエコール、ダレデューモ・マナヴェール合同閉講式
テーマ「社会教育と青少年育成について」講師 鴨池公民館六笠登由館長
11:00~12:00 鴨池小学校体育館
 - ・閉会行事 12:00~ 同上
- 23日(木)・いっぺこっぺどん「伝承遊びと芝居」15:00~16:00 鴨池小学校体育館 入場料 500円
- ・第1部 「伝承遊びとわらべ歌」
 - ・第2部 「紙芝居風お芝居-したきりすずめ」
 - ・第3部 「伝承遊び体験・ワークショップ」
- 25日(土)・ミニミニ医療講演会「子育てのヒントを見つけよう」
10:00~12:15 鴨池生協クリニック5階 申込み締切2月18日 先着20名
申込先 鴨池生協クリニック ☎099-260-3532 担当 片平さん

※お申し込み・お問合せ

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522 (月・水・金 9:00~12:00 祝日休み)

鳴池校区内の公共施設 — 鹿児島県青少年会館

渡邊芳憲 (91503)

■前書き

今回は、「鹿児島県青少年会館」について調べてみました。

鹿児島県青少年会館（以下「青少年会館」）は、県庁向かいの、社会福祉センターと2階テラスでつながった建物で、隣には鹿児島市水道局があります。また、青少年会館の道路向かいには鹿児島市医師会病院があります。住居表示で言うと鳴池新町1番8号になります。

青少年会館は、鹿児島県が設置し、「鹿児島県青少年育成県民会議」が指定管理者として、管理・運営しています。

先日、鹿児島県青少年育成県民会議の蔵元事務局次長にお話を伺いました。忙しい中、対応いただきありがとうございます。

■建物について

青少年会館は、先に書いたとおり、社会福祉センターと2階テラスでつながっており、出入り口もそこにあります。天気が良いければ、社会福祉センター前の大階段を上って左に向かい青少年会館に入る方が、簡単かと思えます。2階に事務室が正面奥にあります。後で述べる「子ども・若者ホッとスペース」もその手前にあります。もちろん1階にも出入り口があり、テラス下の2階の出入り口と同じ位置にあります。

青少年会館は、元々が「青少年が、自主的団体活動や研修等を通じて、仲間づくりから社会参加へと健全な発達を図る場」として、また県民の方々のサークル活動や研修、会議、講演会等に利用できる施設（青少年会館ホームページから引用）であるため、大小八つの会議室等が面積の殆どを占めています。屋上も4階として、会議室があります。元々は工芸室でしたが、現在は、普通の会議室として使われています。ですから、職員の方を含め、常時人がいるのは、2階ということになります。

■子ども・若者ホッとスペースについて

2階に、子ども・若者ホッとスペースがあります。

ここは、名前のとおり、子ども・若者がほっとでき、歓談、休憩などができるスペース（フリースペース）となっています。そして、壁際には、学習できるコーナー（学習スペース）が設けられており、同時に8人が利用できます。この学習スペースはパーティション（ついたて）で仕切られており、静穏を保つと同時にコロナ感染対策にも考慮されたものとなっています。また、デスクごとにライトも備えられています。学習スペースでは、飲み物は飲めますが、食事はできません。青少年会館は、基本的に、有料（減免規定あり）で利用する施設ですが、この子ども・若者ホッとスペースは「申込み不要・無料・出入り自由」となっています。お子さんの学習空間としてとして利用なさってみてはいかがでしょうか。その際は、一般常識として、そこの方々への挨拶は忘れずに。

■かごしま子ども・若者総合相談センターについて
2階には子ども・若者ホッとスペースや事務室のほかに、かごしま子ども・若者総合相談センターがあります。

このかごしま子ども・若者総合相談センターでは子ども・若者が持つ子ども・若者特有の悩みを共に考え、解決の手助けをしてくれる専門スタッフもいます。悩み事があるときは利用してみることをお勧めします。

また、この部屋には、「ひきこもり地域支援センター」も同居しています。悩まれている親御さんがおられましたら、一度ご利用されてみてはいかがでしょうか。

子ども・若者ホッとスペース

県青少年会館2階にオープンしました！

自由にできるフリースペース・学習スペースです。（申込み不要・無料・出入り自由）
図書、フリーWi-Fiがあります。様々な悩みの相談にも対応します。

2月まで毎週日曜日 13:00～17:00 大学生スタッフによる見守り学習サポートを実施しています。

詳細は「鹿児島県青少年育成県民会議」で検索！



フリースペース

学習スペース

火曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日 9:00～17:00
月曜日 休

子ども・若者ホッとスペース
(鹿児島県青少年会館2階)

お問い合わせ先
鹿児島県青少年育成県民会議
鹿児島市鳴池新町1番8号
TEL: (099) 257-8226
mail: ikuseikagi@hkg.odn.ne.jp



mail: ikuseikaigi@hkg.odn.jp (文字脱落あり)

休館日

毎週月曜日

年末年始 (12月28日～1月4日)

利用時間

火～土 午前9時から午後9時30分まで
日 午前9時から午後5時まで

◎子ども・若者ホッとスペース

火～土 午前9時から午後9時まで
日 午前9時から午後5時まで

◎子ども・若者総合相談センター

【ひきこもり地域支援センター】

火～日 午前10時から午後5時まで

青少年会館 099-257-8226

両センター 099-257-8230

誰かに聴いてほしいことがある。

電話相談 099-257-8230

メール相談 ホームページ内メール相談専用フォームをご利用ください。

面談相談 相談日時 10:00-17:00 (火～日曜日)

かごしま子ども・若者総合相談センター
〒890-0064 鹿児島市鳴池新町1-8 県青少年会館2階(ひきこもり地域支援センター)

「難しい問題です」

田島康弘 (3-101)

私には二つの拠点となる地域がある。鴨池と春山だ。鴨池は昼の居住地いわば仕事場であり、春山は夜の居住地である。

先日、春山の老人クラブの1月定例会で吉見文一さんの話を聞いた。氏は鹿児島市の「高齢者ボランティア派遣」にマジック分野で登録している81歳の元高等学校の先生である。

私がすごいと思ったのは、マジックもさることながら、昨年10月、新しい会を立ち上げたことである。その会の名は「戦争を語り継ぐ遺族の会」である。

当日はマジックとともに、こちらの話もあった。彼が2歳の時、彼の父はニューギニアで戦死した。彼は父の顔を知らない。ニューギニアに行った時は海に向かつて「お父さん」と大声で叫んだという。彼が「お父さん」と呼んだのはこの時が初めてだったという。このことを高校生の孫が作文に書き、最優秀賞を獲得した。こんなこともあって、「命や平和の大切さを語り継ぐこと」が自分の使命であると思つて会を立ち上げたというのである。

「戦争は絶対してはいけない」という言葉もあった。この点については、恐らく日本人の9割以上の人が同意するであろう。問題はどうしたらこれが実現できるかだ。国と国との関係も人と人との関係と同じだと考えると、誰でも強い人とは喧嘩したくないと思つたろう。だから、強くなればいいのだから。力の差が歴然としていればこれでも良いかもしれない。しかし、力の差が均衡している場合はどうか。逆に争いになりやすくなるのではないか。

こうした実力のほかに、人間には精神面、心の面があることも確かだろう。もしかしたら、こちらの方が人間の行動では優先ではするのではないか。

私は彼に、「今の我が国の軍備拡大をどう考えるか」を質問した。その答えがタイトルの言葉となつて帰ってきた。地域の老人クラブでこんなことを話し合うことができ、とても良かったと感じた。

鹿児島県青少年育成県民会議

渡邊芳憲 (9-503)

2面(右ページ)で、青少年会館を管理・運営している鹿児島県青少年育成県民会議(以下「県民会議」)について、触れられませんでしたので、ここで、紹介します。

青少年の健全な育成は、行政だけでなしえるものではないということで、県内にある各種団体・組織で結成されたのが県民会議で、昭和42年に結成されました。

2階にある事務室は、県民会議の事務室です。

会長には、知事がなつており、現在、県内231団体で構成されています。主な構成団体は、地域青少年育成推進協議会、青少年育成市町村民会議、青少年団体、青少年育成団体、マスコミ関係、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどとなっています。

県民会議では、「かごしま子ども・若者総合相談センター」と「ひきこもり地域支援センター」(この二つのセンターは同室にあり、一体的に運営されているようです)は、このセンターを利用することが難しい、地方の方々のために、巡回相談会も行っているそうです。

なお、子ども・若者ホッとスペースは、去年の7月から始まった、まだ1年に満たない新しい事業で、世の中にまだあまり知られていないようです。皆様の利用が活発になれば、青少年会館(県民会議)でも、さらに使いやすい形に工夫されるなども考えられます。せつかく、私たちの校区内にある施設です。私たちが地の利を生かした利用をしていけたらと思います。

自由なページ

皆様の意見・提言・感想などを
お寄せください。

「ゆくさ おじやったもんせ」の おかしさ

渡邊芳憲 (9-503)

市内のある所で、ガラス窓に表題の言葉が書いてある店を見かけた。

県外からの客に鹿児島弁で語りかける意図で書かれた物であろうと思ったが、これは鹿児島弁として、おかしきことに店の人は気付かなかつたのかと不思議であった。

と言うのも、「ゆくさ」は、標準語で言えば「ようこそ」であり、この一文に即していえば、既に鹿児島に来た人に言う言葉ではなからうか。それだと「ゆくさ」に続く言葉は、例えば「おじやったもんせ(おいでください)」ではなからうか。

「おじやったもんせ(おいでください)」という言葉は、鹿児島県を代表するとまでは言わないが、結構使われている方言ではないかと思う。だから、この言葉を使いたかつたのであれば、「ゆくさ」ではなく、「どうか」あたりではなからうか。

そもそも、「おじやったもんせ」は、内側から外に向かつて言われる言葉で、小さくは、店の中から店の外に、大きくは、県内から県外・国外に言われる言葉であるから、もし県外の人に向かつて言われた言葉であるとすると、これを目にする県外の人には、既に来県して店の前にいるわけで、「きてください」と言われるのは心外かもしれない。

また、これは、県外とかではなくて、単に、これを目にした人を店に呼び込む言葉だとすると、「おじやったもんせ」は大仰に過ぎると思う。これがわかる人は、鹿児島県人であるわけで、それなら、「きやつたもんせ」などの方が、ざつとばらんで、親しみを込めた呼びかけになるのではないかと思う。

自由なページを作りました。

また、不定期ではありますが、A3版での発行も、やっていきたいと思つています。

3位入賞

田島康弘(3101)

1月15日の日曜日、県庁で「かもいけ新春走り初め大会」が開催された。小学生を中心とした大会であったが、中学生以上の部(3km)も設けられていた。

ここ10年間ほど、週に1回ではあったが5キロ以上走ってきた私にとって、「LLかもいけ」の情報を見た時、とっさに走ってみたいと思った。ただ競争は嫌いなので同じコースを皆に知られないように一人で走れば良い位に思っていた。

当日会場に行ったら、スタッフの方から「走るなら登録してください」と言われ、名前を記入させられた。

私の走りは遅い。3年前くらいまでは普通の走りが出ていたのだが、そのころから急に遅くなったと感じている。早く歩く人にも抜かれるような遅さでは恥ずかしいだけでなく、皆にも迷惑をかけるのでどうしようか迷ったが、開き直りの気分です。

思った通り、遅くまで待たせてスタッフの皆さんにご迷惑をかけることになったが、最後まで辛抱強く待ってくださった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

順位は3着で、普通なら高位ですが、走った人数が3人でした。

終わってから感じたことは健康のためのイベントであり、大会の成功のために頑張る協力している私より若い皆さん方が「なぜ走りに参加しないのですか」ということです。余計なお世話だと言われそうですが、次回のための多少の参考になつてくれれば嬉しいのです。

「自由なページ」を作りました。

また、不定期ではありますが、A3版での発行も、やっていきたいと思えます。

カーボンニュートラルの動きについて

渡邊芳憲(91503)

今現在、世界的に「地球温暖化」をとめるために、二酸化炭素排出を辞めようということになっていきます。

特に、自動車業界では、その動きが活発で、特に、西欧では、ハイブリッド車を含めたガソリン車は、2035年以降は、販売を禁じるという決定をして、バッテリー搭載モーター駆動のみの車(EV自動車)を認めるとしています。

しかし、充電スタンドが、十分に整備されるのかとか、充電時間が掛かりすぎるとか、十分な電力を充電できるバッテリーができるのか、また、発火しない安全なバッテリーができるのか、冬場はバッテリーの性能が落ちるが大丈夫なのか、そもそも車に充電できるだけの電力があるのか、といった問題点も指摘されています。

もちろん、そのため、国内でもバッテリーについての研究がされています。例えば、電解液を含まない全固体電池(発火しない電池)や、充電容量を増やす、充電を繰り返しても劣化しないなどの研究です。

これに対して、トヨタでは、「電気自動車一択ではダメだ。脱炭素には、ほかにも方策がある」として全方位戦略を採っています。このため、外国からは、「トヨタは、脱炭素に乗り遅れた。もう周回遅れだ」と言われていました。

トヨタの豊田章男(とよだあきお)社長は、電気自動車一択になると、日本では、100万人の雇用が失われる。また、車が、全部EV車になると、原子量発電所で10基、火力発電所であれば20基必要になると述べています。

また、車のメーカーとして、車の使用者に対して、様々な選択肢を提供する使命がある、とも述べています。

これらの発言から、見えてくるのは、単に自動車メーカーのトップとしての発言ではなく、日本

全体の未来を考えた発言のように思えます。トヨタでは、水素エンジン自動車(水素を燃料としてエンジンを回転させる自動車)も開発しようとしています。水素を燃料としているため、排出されるのは、水だけです。

水素エンジンが実用化されると、今ガソリンエンジンを製造している技術者、作業員も引き続き、エンジン製造できるため、失業の恐れもなくなるわけです。これを見ると、日本の自動車のエンジン製造技術は、世界屈指であるため、それに太刀打ちできない海外メーカーが日本を排除するために、モーターで車を走らせるようとしているように感じています。妄想だとは、思いませんけど。

自由なページ

など素言・意見の意を皆様にお寄せください

また、電力不足についても、考えなければならぬ問題が多々あるように思います。よく再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、中小水力、バイオマス)を使えば解決するとの意見もありますが、これらは、規模がそれほどなく、不足分をまかなえるかは疑問に思います。さらに、太陽光発電では、耐用年数を経過した太陽光パネルの処分が問題となつてくるように思います。パネル内に有害物質を含んでいるため、不法投棄が無いようにする手立てが必要でしょう。

ところで、私はYouTube(ユーチューブ)をよく見ているんですが、そこで、先の豊田章男社長を採り上げた動画を見つけました。「ニユルちゃん!」クルマ系・ゆつくり解説」というチャンネルで、その「変態パワーでトヨタを変えてしまったヤバイ男の物語」(豊田章男)(前・後編)という動画です。リーマンショックで赤字を出してしまつたトヨタが、「捨て駒社長」として担ぎ出したのが創業家の一族であった豊田章男氏でした。その社長がスポーツカー開発を、自ら培った「現地・現場主義」で社内の抵抗をはねのけて、進めていく様子をエンターテインメント性たっぷりに描写した物です。※速報です。豊田章男氏がトヨタの社長を退き、会長に就いたとのこと。